

行雲流水

No. 6 0 令和3年6月10日発行

暑さとの上手なつきあい方

校長 寒河江 正人

暑い日が続いています。

生徒諸君は、今、どう対応していますか？

去年の暑さ、すごかったですよね。

この夏も、暑くなることを想定して、「**上手なつきあい方**」を工夫しましょう。

1 **気温や湿度**が高い日は、熱中症の発症率が急増

私たちの体は、血管を広げて、外気に体内の熱を放散したり、汗をかいて蒸発させたりして、体温の急激な上昇を防いでいます。

しかし、「**気温が高い**」と体内の熱は放散されず、「**湿度が高い**」と汗は蒸発しません。
周りの温度に体が対応できず、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調節機能がうまく働かなくなると「熱中症」になります。

2 熱中症は、**予防**が大切

- (1) **涼しい服装**（Ｔシャツ・ハーフパンツ）を心がけましょう。
- (2) こまめに**水分を補給**しましょう。※目安は、一日あたり1.2リットル
- (3) エアコンを上手に活用して、**室温を調整**しましょう。
- (4) 感染症予防のために、こまめに**換気**しましょう。
- (5) 屋外の活動では、**帽子**を上手に活用しましょう。
- (6) 栄養・休養・睡眠・規則正しい生活リズムが健康維持の基本です。
- (7) 日頃から**体温測定・健康チェック**をしましょう。
- (8) 体調が思わしくないときは、**無理せず、すぐ申し出て静養**しましょう。

3 その日の**気象情報**を確認

タブレットPCで、環境省・気象庁の「**熱中症予防サイト**」や「**熱中症警戒アラート**」などを検索して、その日の「**暑さ指数（WBGT）**」の最新情報を活用しましょう。

◎**正確な情報**をいち早くつかんで、**上手に活用**することで、**自分の健康を守る！！**